

## 幕張の浜へ！ 海浜デッキの概要決まる



ウォーターフロントに位置するベイタウンは海の街。休日には幕張の浜で潮干狩りを…。こんな期待をもってベイタウンに済むことを決めたひとも多いだろう。ベイタウンの最も海よりの番街から幕張の浜までは直線距離では300m程度、徒歩でも5分ほどだ。だがこの300mが意外に遠い。距離を遠くしているのはベイタウンと幕張の浜の間に通る広域幹線道路「海浜大通り」だ。ベイタウンから海に出るにはこの道路にかかる遠くのデッキまで迂回しなければならず、とても5分では行ける距離ではない。

こんな海へのアクセスの悪さを解消しようと企業庁はベイタウンから海へ直結する「海浜デッキ」(仮称)の建設を決めた。このデッキはミラマル横の歩道から海浜大通りを跨ぎ海岸に出る歩道橋。完成すればバレンタイン通りからそのまま海に自転車でも出られる。

今回決まった設計案ではデッキはパイプを使ったアーチ状の橋で、現在のマリンデッキとはほぼ同じ構造。エレベータ2基を備えた長さ50mほどの大きなデッキになる。事業スケジュールでは今年度(平成19年度)に基本設計と地質調査、平成20

「海浜デッキ」(仮称)の完成予想図(企業庁提供)。向かって右がベイタウン、左が海側。いくつかの案が検討された後、この案が最終のものとなった。長さが50mと長くこのままの形で強度が保てるかどうかはわからないとのこと、従って実際にはこのイメージ図とは異なる可能性もある。



(写真左上) デッキのベイタウン側のスロープができるミラマル前の歩道。このあたりからデッキを上り、海浜大通りの上にする。(写真右上) デッキの海側の着地点となる幕張公園の駐車場付近。今は利用者も少なく、歩道も整備されていない。現在は公園と歩道の間にはサクが設けられており、この地点から海に出ることはできない。

年度に実施設計と工事着工、平成21年度には完成する。

実はベイタウンの開発計画では街から幕張の浜へアクセスできるデッキは3本が予定されていた。週末には海辺で余暇を過ごす、そんなマリンリゾートのような性格を街に与える計画だったようだが、バブルの崩壊で計画が変更になり、ベイタウンの街開き10年を経て、やっとデッキが1本でできることになった。

もっともデッキは完成しても行き先となる県立幕張公園の整備はまだ先だ。今は空しく駐車場が広がる公園用地の整備状況によってデッキの到着点のデザインは変わる可能性もあるが、公園側の完成を待っているのは移管問題とも絡んでデッキの設置はおぼつかなくなると考え、実施に移したようだ。経緯はどうあれ、ベイタウンにマリンリゾートの性格を与えるデッキの設置は住民にとって悪い話ではない。

# 打瀬少年野球団 いまどきの野球少年

7月下旬から8月にかけて、TVでは甲子園球児が汗を流しているころ、ベイタウンでも毎日野球に打ち込んでいる子ども達がいる。毎日休むことなく1丁目公園に集まり、草野球に汗をながす。小学校低学年が中心で、集まる人数は日によってちがうが毎日11:00頃からと3:30頃から欠かさず集まり、二手に分かれて試合とも練習ともつかぬゲームをはじめ。連日の暑さもなんのその、熊谷で40℃を越えた記録的な猛暑の日も休まずボールを追っていた。

実は彼らが1丁目公園で野球を始めたのはこの夏からではない。1年半ほど前から、ほぼ毎日のようにやっている。学校のある日も、毎日4:00前から集まってはボールが見えなくなるまでやっていた。

集まるのは美浜打瀬小学校の1年から4年生まで。彼らにはチームもある。「ボンバーズ」と「ギンガーズ」。2チーム連合で「美浜オールスターズ」という。チームを2つづくるほど人数がいるのか聞いてみると、なんと36人もいるという。全員が集まることはほとんどないが、いつも10人前後は集まるそうだ。

プロ野球選手になりたいのか聞くと、皆「なりたい」という。そんなに野球が好きなら少年野球チームに入ってはどうかと聞くと、「今

はこのチームで上手くなってから」。野球の他にやっているスポーツはないのかと聞くと、サッカーやテニスを習い事でやっているが、あくまで本命は野球だそうで、「サッカーは足が速くなるから野球にもいいのでやっている」と言う子もいる。

指導する大人もいない。集まった子だけでチームに分かれ、練習試合をする。人数が足りないときは攻撃側のチームのメンバーが代理で守備をしたりもする。ボールもゴムボールだったり、テニスボールのこともある。見ているうちに、空き地にベースを描き素手とバット代わりの棒きれで野球をしていた子どもの頃を思い出した。

さすがに現代っ子らしくバットもグラブも持っているが、やっている事は昔とそう変わらない。下級生がうまくゴロを捕れなかったりすると、上級生らしき子が球を正面で捕るように教える。エラーがつづいたりすると、今日は練習だと言ってノックをしたりする。トンネルした子は1丁目公園1周ランニングのバツを受けることもあり、まさに瀬戸内少年野球団ならぬ打瀬少年野球団と呼びたくなる。

彼らにとって今最大の関心事はどこか他のチームと練習試合をすること。実はベイタウンには彼らの他にも沢山の子ども野球チーム

があり、それぞれ2丁目公園や小学校の校庭を拠点に活動しているようだ。先日彼らは腕試しをしようと打瀬小校庭へ出かけ、野球をしている子ども達に試合を申し込んだが、相手方にスタブプレーヤーがたまたま不在だったため断られたという。そこで彼ら「美浜オールスターズ」からベイタウンの野球少年達へのメッセージ。「練習試合をやろう！」

【松村】



いつも野球をする「打瀬1丁目球場」



この日はたまたま9人しかいなかった

## ゴミ減量化とバレンタイン通り移管の説明会

8月19日、ベイタウンコア・ホールで「ゴミ減量化説明会」と「バレンタイン通り移管」についての説明会(参加者50名)が開かれた。

まず、市の環境総務課の4人の職員から、千葉市が進めている“焼却ゴミ3分の1削減”について説明があった。千葉市では依然ゴミの排出量・焼却処理量が増え続けており、ゴミ処理にかかる費用も年間161億円(市民一人あたりでは1万8千円)。老朽化した北谷清掃工場の建て替えや、最終処分場(現在の処分場は平成36年埋立終了予定)の延命化にも何か手を打たなければならない時期に来ているとのこと。もちろん、各家庭でこれまで以上分別に取り組み、資源化を図ることはもちろんだが、今回、特に市が資源化の切り札としているのが、新聞紙や段ボール以外の「雑紙」の分別収集である。いわゆる、チ

ラシやDM、菓子箱などを、これまで分別のカテゴリーになかったもの(一部の番街では既に分別収集しているところも)を分別収集することで、焼却ゴミの削減・資源化を図るというものである。

「雑紙」の分別収集については全市的に取り組むもので、この日、ベイタウンの自治会連合会に対しても協力の要請があった。これに対して連合会からは協力が異論はないが、協力するに当たって、分別収集を各番街に協力してもらおう方法についてより具体的に協力してもらいたい方法を提示してほしい、また連合会に属していない番街については市でもどういう形で周知し協力してもらおうのかを考えて提示してほしいという指摘があった。市はこれを持ち帰って検討する。

次のテーマ「バレンタイン通り移管」については、企業庁や市からは担当者は出席せず、「管理運営のあり方研究会(以下あり方研究会)」に住民代表として出席している連合会の佐藤さんから参加者への説明があった。

バレンタイン通りの引継ぎ対象は、道路、道路緑地、街路灯、共同溝、雨水管、污水管、その他道路付属物で、既に6月20、21日、7月10日に現地立ち会い調査が行われ、舗装のひび割れ、マンホールの高さ調整、歩

道平板の割れ・がたつきなど、45箇所の補修・改修の指摘があったとのこと。しかし、これに対して参加者からは「住民」の意見が反映されていないとの指摘があり、実際、このままでは住民が感じているバレンタイン通りの交通上の危険への配慮がなされないという意見があった。コインパーキングの設置や道路標識の高さなどかなり具体的な指摘もあった。

また、今後企業庁から市へ移管される上で、市の財政上の問題からベイタウンの公共施設がクオリティダウンするかもしれないということについて、具体的な(数字的)根拠を知りたいという意見があり、これについては「あり方研究会」でも明らかにしてほしいと企業庁・市に再三にわたって要請しているがなかなか出てこないとのことだった(引き続き要請する)。将来的にはベイタウンの管理・運営にあたる「管理・運営機構」についても、「住民が行政に要望だけする」、「住民が要望を出す協力を」、「住民主導で行政を使う」の3つが考えられ、今後どれを選択するかは住民の意見を集約していきたいと、佐藤さんの説明があった。9月に実施を予定している「全戸アンケート」が、広く住民の意見を問う最初のチャンスになる。「あの時、もっとこうしていれば〜」と後悔しないためにも、「移管問題」に関心を持ち、アンケートに自分の意見を書きたい。

【佐藤】



## 打瀬中学校「エキサイティング講座」

打瀬中では今秋、1年生の授業に地域の方を先生に迎えた「エキサイティング講座」を開催する。この講座は1年生の「総合的な学習」として行われるもので、打瀬中では「スクラブル学習」と呼ばれる。

打瀬中は同様の講座として、「AT講座」を数年前に実施してきたが、今回は同講座を更に発展させたもの。地域の大人が自分の専門分野や体験などについて、実演を交えながら授業を行う。中学1年生といえども子どもから大人が変わっていく時期、地域の大人との触れあいの中で将来の興味や関心の方向を見つけることも多い年代だ。先生や親ともちがった大人との付き合いの中で、大げさに言えば「学ぶ」ことの大切さや「生きる」愉しさを感じることができればとの願いが感じられる。

講座には、すいとんやサツマイモのふかしパンなど戦中戦後の食糧難の時代の暮らしや食べ物を実際に調理して味わい、当時の生活を考える講座や、中学生数人がグループとなり、ベイタウンのシニアのご家庭を訪問してインタビューをする講座、さらには現役のCMクリエイターによるCM制作の実際を知りCMメッセージについて考える講座など、延べ数で約35もの講座が予定されている。

「エキサイティング講座」の第一回は9月12日(水)13時から。講座はこの日のほか、9月に1回、11月に3回、12月に2回の合

計7回が予定されている。授業は父兄以外の一般の方の見学も可能とのこと。

ベイタウンニュースではこの講座に2回連続で講師として参加し、「ベイタウンニュースを作ろう」と題した講座を行います。また「エキサイティング講座」についてはできるだけ多くの講座を取材し伝えていく予定です。

## 海浜幕張公園まつり'07秋

「ハロウィンパーティー in 幕張」～幕張の浜にハロウィンがやって来る！

今年で7回目となる幕張海浜公園まつりのテーマは「ハロウィンパーティー」。仮装パレードを中心にハロウィンにちなんだ様々なプログラムを展開し、子どもからお年寄りそしてワンちゃんまで、一日中楽しめるプログラムが満載。参加費や事前予約の必要なプログラムもあるので、詳しくはウェブサイトまたは下記問い合わせ先まで。普段あまり使われない海側ブロックの魅力的な利用方法を提案しようとして、有志がボランティアで企画・運営するイベントです。

開催日時：平成19年10月7日(日)(雨天の場合8日(祝)に順延)

会場：県立幕張海浜公園海側D・Eブロック

主催：幕張海浜公園まつり'07秋実行委員会事務局(NPO幕張海浜公園を育てる会内)

問い合わせ先電話番号：043-211-1068(NPO法人幕張海浜公園を育てる会)

URL：<http://www.sodaterukai.com/>

## プログラム内容

- (1) ハロウィン仮装パレード
- (2) ハロウィン名物”かぼちゃ提灯”づくり  
こどものあそびば in 松林(松林探検・学習と松ぼっくりなどを使った自由工作)
- (4) 秋エンジョイ！インラインスケート(講習会、体験会、かけっこ大会、ゲーム)
- (5) Let's Jumping!! あつまれ縄とびっ!!  
(縄跳びの様々な技の体験プログラム)
- (6) Click and Treat!! +ワンコマッサージ(愛犬のしけとドッグマッサージ講習)
- (7) 野点
- (8) ドラム缶で本格ピザを焼いてみよう!
- (9) 気ままにアウトドアクッキング(デイキャンプサイト)
- (10) ちょっと一息カフェテリア
- (11) 公園の隠れた魅力発見!(公園の魅力をパネル展示)

## 子育てトーキング“しゃべり場”

子育てトーキング“しゃべり場”を小、中学校生の保護者を主に下記日程で開催します。現在、子育て中の方はもちろんのこと、子育てが一段落して思うシニアの方等、年齢、性別は問いません。多くの方の参加をお待ちしております。

場所：ベイタウン・コア 講習室(事前連絡がなくても可)

日時：9/28(金) 10時～12時

テーマ：反抗期の子供との関わり方

主催：青少年育成委員会 健全育成・福祉部

## 9月のコア・イベント

9/20  
(木)

キルギスの口琴と弦楽器の演奏会

「草原の響き・山々の歌声」

時間：15:30 開場 16:00 開演

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

入場料：500円(ワンコイン)

主催：ベイタウンシニアクラブ

協賛：ベイタウン自治会連合会

9/22  
(土)

寺子屋工作ランド

「ぶんぶんゴマ」

時間：9:30～

場所：ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの：小刀、工作用具

参加費：50円(材料費)

見本をコアの掲示板に展示しています。

9/23  
(日)

第54回ファツィオリの会

時間：9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

月に月に一度、コア・ホールでのミニコンサートです。ピアノ演奏や他の楽器の演奏や歌など

大歓迎です。

またお一人で弾いてみたい方には非公開も希望できます。

申し込み締め切り日：9月16日(日)。

連絡先：TEL/FAX：043-211-0675(小野寺)

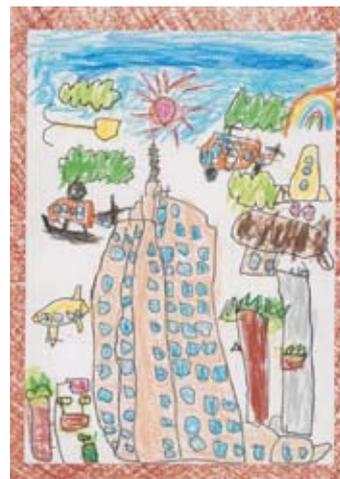
E-mail：ro.no-1117dera@nifty.com

## 「夏休み写生コンテスト」結果発表

7月号で募集しました「夏休み写生コンテスト」(ホテルザ・マンハッタン共催)が終了しました。今年も昨年につづき予想を遙かに上回る数の作品を応募いただきありがとうございました。

受賞作品を下のように選びました。受賞者のみなさんには直接ご連絡し、賞品をおとけします。

受賞作品はベイタウン・コア廊下掲示板でも今月展示します。是非ご覧下さい。



マンハッタン賞：池田 英史様

「のりものとホテルザ・マンハッタン」

総支配人賞：小野 圭介様

「夕暮れのマンハッタン」

タイトル賞：岡田 せいり様

「まほうのくにのホテルザ・マンハッタン」

特別賞：瀬下 泰輝様「公園から見えるホテル」

中村 蘭様「みはま園からみたマンハッタン」

伊藤 百香様「マンハッタンの魔法の部屋」

日高 花恋様「夕焼けとマンハッタン」